

## 令和7年度第3回岐阜県海岸漂着物等対策推進協議会 議事要旨

### 1 日 時

令和8年2月16日（月） 10:00～10:45

### 2 場 所

岐阜県シンクタンク庁舎 3階3—2会議室

### 3 出席者

佐治木座長、大藪委員、千葉委員、伊藤委員、宇野委員、太田委員、坂井田委員、澤田委員、岩井委員

### 4 欠席者

佐藤委員、神原委員、荒谷委員、井上委員、田島委員、今井委員

### 5 事務局

安藤廃棄物対策課長、牛島資源循環推進監、中井資源循環推進係長、宮原資源循環推進係主任

### 6 議題及び会議の概要

#### (1)「岐阜県海洋ごみ対策地域計画」中間見直し（案）について

資料1及び資料2により事務局から説明（略）

（佐治木座長）

美濃市から重点モデル区域を蕨生（わらび）地区にも広げてほしいという要望があったということは、非常に喜ばしいことだと思う。

ご指摘のあった岐阜市の荒田川や伊自良川に関しても、指定に関しては市が積極的に出てくれないと、なかなか県の方から「そこを指定します」というふうに、上からぐっとやってしまうわけにはいかないところだと思う。パブコメの意見があったことをまた市の方にお伝えいただければいいのではないか。確かに伊自良川に関しては私も同じような意見を持っているので、そのこのところもこれから考えていただければと思う。

（伊藤委員）

木曾川・飛騨川流域にあまり指定された重点地区がない。必要がなければそれに越したことはないと思うが、対策してないのではないかとと言われることもあるので、流域の市町村への働きかけが重要ではないか。また次期に向けてご検討いただきたい。

（佐治木座長）

パブリック・コメントと市町村からのご意見の数はまずまずと言えるところだが、もう少し県民に浸透し、複数の人数で例えば9件、10件出てくるともっと嬉しいと思う。そこはこれからもホームページ等々でできるだけ宣伝をしていくことが大事になるのではないかと感じた。

先ほどの間伐材の件に関して少しわかりにくかったので、もう1回説明いた

だきたい。

(事務局)

間伐材のコラムを入れていただきたいというご意見があったところですが、林政部局にも確認したところ、県としては間伐材に限らない県産材そのものの利用促進を行っており、ご意見いただいた間伐材そのもののコラムはなかなか難しいのではということになった。

(伊藤委員)

切り捨て間伐と林地残材の対策を「清流の国ぎふ 森林環境税」使っているんで、流出対策という意味での間伐材の話は、このコラムの前後の治山ダム・治山えん堤の話に盛り込まれているのではないかと。

ただ、流木としての間伐材の視点も重要と思っているので、そこを盛り込むとしたら、利用促進ということだけで対策が立てられるかとそうではなく、その前段階の流木の捕捉対策を述べる必要があると思う。

39 ページのコラム 20 に関しても利用促進の話でよいと思うが、ただ流木対策という意味で間伐材に着目しておく重要性は忘れてはいけないと思う。

計画で、治山系はダム、砂防はえん堤と表記してあるが、意図的に変えたのか。

(事務局)

意図的かどうかは、関係各課に再度確認をする。

(伊藤委員)

表記を統一する必要があるかどうかご確認いただければと思う。

(佐治木座長)

硫黄コーティングした農薬は、最後の方は硫黄酸化物になっていいのか悪いのかと思うところもあるが、農業事業者はどう考えているのだろうか。

(宇野委員)

成分的なところはわからないため言及できないが、農業団体としては、成分よりは、本来は所定の手続きで廃棄しなければいけないプラスチックがそのまま流出をしているところを懸念しているイメージである。

(佐治木座長)

土壌に入り農業サイクルが最終的には壊して分解するというのに対し、プラスチックの場合はどうしてもマイクロプラスチックを経てナノプラスチックにまで分解されて目視できないサイズになる可能性もある。

(宇野委員)

細くなったとしてもそのまま残るところが問題かと考える。

(事務局)

委員の皆様からいただいたご意見は座長と相談して計画にまとめていきたい。

資料3、資料4により事務局から説明（略）

（大藪委員）

「中学校の学生による」とあるが、学生という用語は大学生以上に使用し、小学生や中高生は「生徒」というため気になった。

（佐治木座長）

今回の計画を通じて、海洋ごみ問題は「岐阜県にはあまり関係ない」という気持ちを持った県民の方が少しでも減るのが大事だと思う。普及・PR活動を行うにあたり、岐阜県のホームページ等でできるだけアピールできる形でモディファイできるといいと思う。

（千葉委員）

地域計画の中間見直しを行い、非常にいいものができていると感じる。特に協議会の場や書面でも意見として書かせていただいたが、流木対策のことがどれぐらい書き込まれるかという点についても、いろいろご配慮いただいてかなり明確になってきていると感じる。

現状、ポータルサイトは（株）ピリカを使っていて、今どこの県でもピリカを使っていると思うが、他の業者をチェックしたり比較したりとか、何かされているのか。

（事務局）

ピリカは当初導入してから、ピリカ自身も最初に始めた業者というのもあり、県として特にどこかと比較のため綿密な調査はしていないのが現状である。

（千葉委員）

ピリカがすごく力を持っていると思うが、独占的になると価格的な問題もあると思うので、何か情報があれば検討していただきたい。